

日程

時間 日	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
9日							受付	開 会 式	諸 打 合	キャン プ 地 移 動 (徒 歩)	設 営	夕 食	歌 ゲ ー ム 唱 う	班 長 と の 話 し 合 い			
10日	起 床 洗 面 清 掃	朝 の つ ど い	朝 食	ハイキング(中田浜) 講演 団活動状況発表					自由時間	夕 食	講 義	キャン プ ファイ ヤー					
11日				テ ン ト 撤 収 清 掃	下 山 、 開 会 式 (徒 歩) 解 散												

本県のスポーツ少年団は500団体、団員1万余名の全国第2位で、県大会を開催したことはまことに意義が深いものがある。この大会を開催するにあたって、地元会津若松市、市教育委員会、市体育協会、東山小学校等より絶大なご協力をいただき、有意義なるリーダー研修会をもったことを感謝している。とくに市教育委員会には運営一切をお引受けくださって、立派な大会が無事終了したことを改めて厚く御礼申しあげたい。

7 青少年スポーツ活動指導者講習会

(1) ソフトボール審判認定講習会

期日 昭和40年11月27日

会場 福島成蹊女子高等学校

講師

福島教委事務局保健体育課体育係長 佐々木英雄
同 指導主事 石井 源次
日本ソフトボール協会理事 佐藤 寿男
福島ソフトボール協会理事長 柏倉 正一
日本ソフトボール協会公認審判員 国崎 弘

参加者

93名(内成蹊女子高生20名)

内容

- 講義 社会体育の振興について
ソフトボール規則および指導法について
- 実技

ソフトボール指導法 ソフトボール審判法

2日間の日程を1日間で実施したので無理な面があった。しかし受講者側としては1日間が大歓迎で、来年度は野球の審判講習を希望するものが多かった。

高等学校の教員が30名参加したが、高校のソフト熱の旺盛なものには敬服した。

(2) スキー実技講習会

期日 昭和41年2月3日～5日 3日間

場所 二本松市 岳スキー場

対象 学校教員、体育指導委員、スポーツ関係指導者のうち、これからスキーを始めようとする初心者を中心とし、中級以下のもの

内容

- スキー教材の実技および指導法
- 冬季スポーツ活動指導上の諸問題研究協議
- 実技は初・中・上級の3班に分けて実施した。
- 講習会終了後、県スキー連盟による公認スキーバ

ッチテストを実施した。

講師

全日本スキー連盟公認指導員 本田 茂男
同 上 佐藤 秀雄
県教委事務局保健体育課体育係長 佐々木英雄
同 指導主事 石井 源次

参加者 34名

中学校教員5名(内女子1名)、高校教員11名
体育指導委員3名、市町村教委職員15名(内女子2名)

第2日目の夜歩くスキー教室の8耗映画によるミーティングを実施したが、大変有効であった。3班に分れて個別指導を主としたので、いちじるしい進境を示した。

8 スポーツ教室普及講習会

期日 昭和40年12月17・18日

会場 郡山市立芳山小学校

講師

県教委事務局保健体育課体育係長 佐々木英雄
同 指導主事 石井 源次
福島市教委 〃 保健体育係長 三河 正
郡山市立行健中学校教諭 大越 清

参加者

市町村教委、公民館職員、体育指導委員等 28名
講義内容

体育の生活化について 佐々木講師
スポーツ教室全体計画と国庫補助による
スポーツ教室開設の事務について 石井講師
スポーツ教室開設上の諸問題について 三河講師
スポーツ教室の計画と運営について 大越講師

受講者28人の中9人が国庫補助を受けてのスポーツ教室開設市町村の職員で、活発なる質問があり、受講全員が熱心に受講した。ただ行事の関係で年末に開催したためか受講者の少なかったことが残念である。

9 ユース・ホステル普及講習会

期日 昭和41年1月25・26日

会場 福島市飯坂町 岡田旅館

内容

講義 青少年指導と野外活動について
青少年の生活実態とその指導について
ユース・ホステル運動の現状と将来について